

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4032	(H.24)No.	4032
-----------	------	-----------	------

事務事業名		地域住宅交付金事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		営繕住宅室		市井 清己	63-7740
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成 17 年度 ~ 平成	年度	地域における多様な需要に応じた公的賃貸住宅等の整備等に関する特別措置法		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	3	住宅・住環境
	小施策	1	住宅整備
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	422001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	地域住宅交付金事業	
項	住宅費	(小事業名)	
目	住宅事業費	地域住宅交付金事業	

## 3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>交付金事業を活用した公営住宅の整備事業及び既存公営住宅の維持管理、改善事業</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>長寿命化計画の策定により既存市営住宅の適正管理及び名張市が地域の实情に応じた独自の住宅政策の実現を目指す。</p>
--	---

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]  委託料 3,077千円 公営住宅長寿命化計画策定  移転補償 10件 1,710千円  旅費 19千円	[事業内容(事業量)・事業費]  一ノ井市営住宅等農業集落排水接続工事 21,300千円  浄化槽等引抜・消毒手数料 2,000千円  移転補償 4件 684千円  旅費 51千円  中川原市営住宅駐輪場設置工事 1,800千円	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( )	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
直接事業費	4,806千円	25,835千円	36,180千円	36,180千円	36,180千円	
財源内訳(千円)						
国庫支出金	2,393	10,292	18,090	18,090	18,090	
県支出金						
地方債		12,200				
その他( )						
一般財源	2,413	3,343	18,090	18,090	18,090	
人工数						
職員	0.51人	0.49人	0.49人	0.49人	0.49人	
臨時職員等						
概算人件費	3,723千円	3,577千円	3,577千円	3,577千円	3,577千円	
+ 総事業費	8,529千円	29,412千円	39,757千円	39,757千円	39,757千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	本交付金事業により整備を行った施設件数	件	-	-	-	-	2
	実績			-	1	1	1	
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価・各指標等)	今後の対応方針
公営住宅長寿命化計画策定を行った。	本年度は市営住宅農業集落排水接続工事、及び市営住宅駐輪場の設置を行う。今後規模の大きな改修工事については、交付金を活用する。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
空き家再生等推進事業の活用による地域の社会資本の有効活用	ヤマトコールセンター、近大高専等の誘致に貢献

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(拡大)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項